

さいたま市立高等看護学院

学院要覧



ようこそ

さいたま市立高等看護学院へ



 黒須さん

 赤川さん

 小林さん

 橋本さん

 板橋さん

 赤司さん

 渡辺さん

看護師を目指す皆さんへ



学院長 玉野 久美

本学院は、みなさんが安全・安心に暮らせる医療体制の充実を図るため、地域医療に貢献できる看護師の育成を目指しています。これからの看護に求められるのは、病気や怪我で入院した患者を看るだけでなく、健康寿命の延伸や疾病の予防など、地域で暮らす人々を支えることです。

令和4年度から新しいカリキュラムとなり、あらゆる健康段階にある人々の生活の場を理解し、医療チームにおける多職種との連携協働の実際を学ぶなど、これからの看護師に求められる実践能力を身につけていきます。学校生活では、学生一人ひとりにアドバイザーの教員がつき、学習などのサポートを通して卒業まで支えていきます。看護師の道を目指す志のある皆さん、共に学んでいきましょう。

教育理念

さいたま市の「若い力の育つゆとりある生活文化都市」の基本方針をもとに、充実した教育の提供と教育環境を整え、次世代を担う看護実践者の育成を行います。

看護師として必要な自立性・主体性を育み、感性豊かな人間性を培います。それとともに、看護の対象となる人間を統合的に捉え、生命の尊重、倫理に基づいた資質の高い看護実践者を育成します。あらゆる健康状態にある人々が安寧な生活を営めるように、国際的視野をもち、変化する社会に対応できる資質の高い看護実践者の育成を目指します。さらに、専門職業人として生涯学習し続ける力を

教育目的

感性豊かな人間性を養い、看護に必要な専門的知識・技術・態度を習得し、さいたま市及び地域・社会に貢献できる看護師を育成します。

教育目標

- 1) 人間の多様な価値観を尊重し行動できる、豊かな人間性を備えている。
- 2) 人間を統合的に捉え、人々の健康と生活の質を高める看護が実践できる基礎的応力を身につけている。
- 3) 人々の生命と権利を尊重し、専門職業人として倫理観に基づいた行動がとれる。
- 4) 看護実践者として国内外の社会変化や医療の最新の知識・技術を把握し、自ら学び続ける姿勢をもつ。
- 5) 保健・医療・福祉制度と他職種の役割を理解し、チーム医療を実践する能力をもつ。

アドミッション・ポリシー

本学院では、豊かな人間性と看護実践に必要な基礎的能力をもち、人と地域・社会に貢献できる人材を育てることを目指しています。そのために、以下のような学生を求めています。

- 1) 感性豊かで、多様な人とコミュニケーションをとることができる人。
- 2) 看護に関心をもち、看護を学ぶ上で必要となる基礎的知識をもつ人。
- 3) 人と人との関わりを大切にでき、協働できる人。
- 4) 誠実で責任感のある行動が捕れる人。
- 5) 探求心をもち、自ら学ぼうとする意欲のある人。

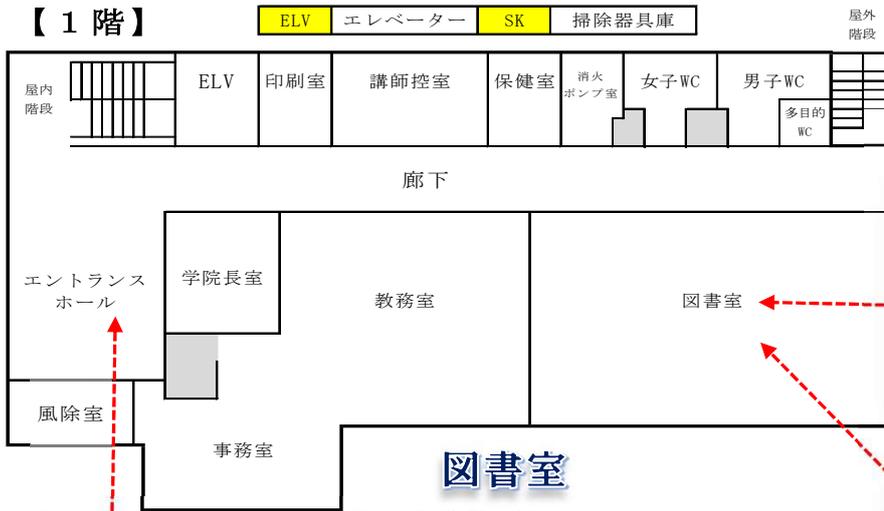
沿革

- | | |
|----------|-------------------------------------|
| 1976年12月 | 看護婦養成所として厚生大臣の指定を受ける |
| 1977年4月 | 「浦和市立高等看護学院」（3年課程定時制）として開校 |
| 1979年2月 | 埼玉県教育委員会から専修学校（専門課程看護科）の認可をうける |
| 1989年12月 | 厚生省から教育課程変更の承認をうける |
| 1990年4月 | 3年課程全日制となる |
| 1997年2月 | 厚生省から教育課程変更の承認をうける |
| 2001年5月 | 浦和市・大宮市・与野市合併により「さいたま市立高等看護学院」に名称変更 |
| 2009年3月 | 厚生省から教育課程変更の承認をうける |
| 2011年4月 | 学生定員を35名から40名へ変更 |
| 2016年4月 | 学生定員を40名から60名へ変更 |
| 2017年1月 | 新校舎竣工 |
| 2017年2月 | 新校舎移転 |





【1階】



図書室

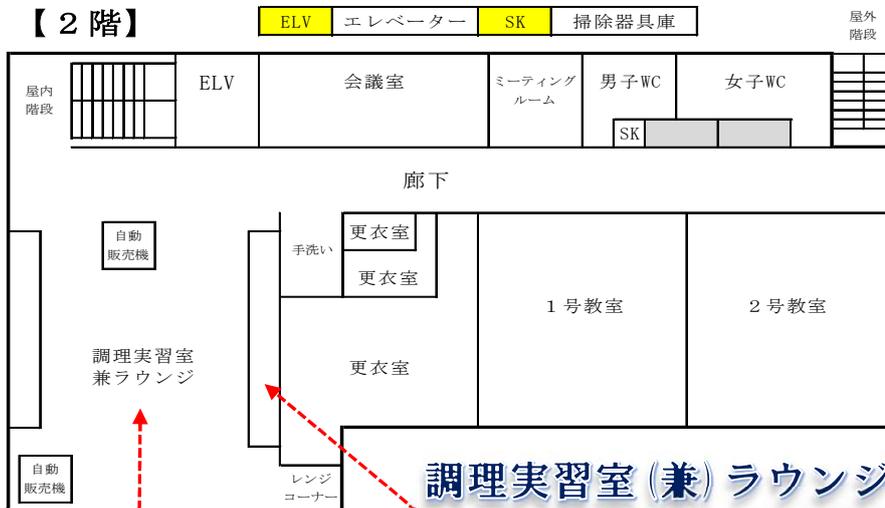
蔵書数は約15,000冊あり、医学・看護学の領域ごとに整理されています。学習室として利用可能なため、授業の復習や実習記録の作成をする学生が多く利用しています。

エントランス

校舎人口のエントランス。明るく開放的な雰囲気です。



【2階】



昼食や授業の合間の休憩場所として活用できるスペース。オール電化のシステムキッチンがあります。

調理実習室(兼)ラウンジ



【3階】



在宅実習室



バリアフリー住宅を再現。浴槽は左右に、洗面台は上下に移動するため、実際の利用者の状態に合わせた住宅ケアの学習ができます。



小児母性コーナー

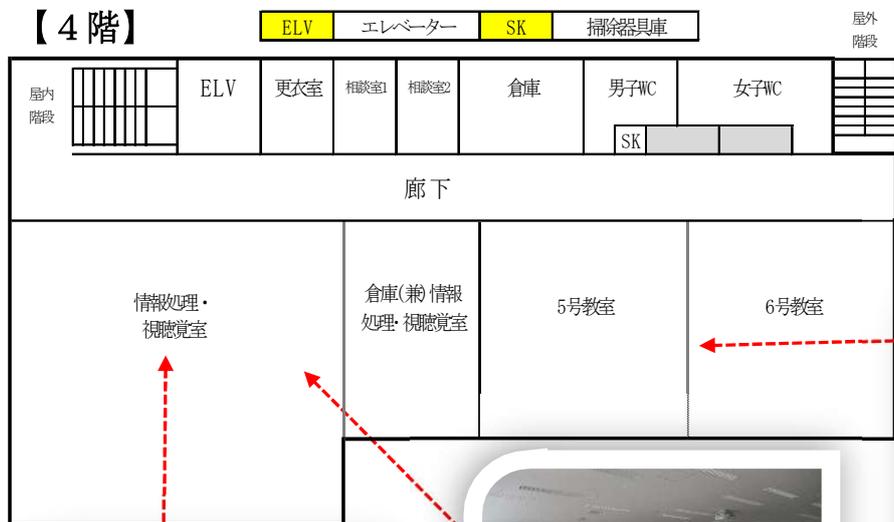
実習室

病室内を再現した学内看護技術トレーニングルーム。

ベッドメイキングや高性能シミュレーター・モデル人形を使用した演習を行います。

5・6号教室

【4階】



5・6号教室は中央のパーティションの開閉により、学年合同授業時は広く、2クラスに分けて使用する場合は2教室分に分割することができます。



情報処理・視聴覚室

主にパソコンを用いた授業の際に使用します。高性能プロジェクターを使用したスクリーンなどの機材も揃っています。授業で使用する他、各種会議、入学式や卒業式等のイベント会場としても使用しています。



教育課程

課程・学科・単位

【学校区分】 専修学校 専門課程

【学科・課程】 看護学科 3年課程

【単 位】 卒業時に106単位修得

※入学時に、大学・短期大学または医療・福祉系専門学校等での既修得単位を認定する制度もあります。

【卒業時の資格】 看護師国家試験受験資格付与、保健師・助産師学校受験資格付与、文部科学省認定「専門士」資格付与

講 義

1. 基礎科目

感性豊かな人間形成のため、専門科目の基礎となる一般教養科目について、埼玉大学をはじめ多くの大学から講師を迎え、講義を行っています。



2. 専門基礎科目及び専門科目

専門的な知識及び技術を習得するため、本校教員以外にも大学医学部の教授、実習病院の病院長・臨床医・看護部長等、各分野の専門家からの講義が行われています。

演 習



看護技術の習得を目指して、多機能ハイブリッドシミュレーターSCENARIO（2台）、
フィジカルアセスメントモデルPhysiko（1台）、
その他演習内容に応じて様々なシミュレーターを活用し、臨床場면을再現した演習を行っています。

臨地実習の様子



おもな実習施設

- | | |
|-----------|-------------|
| ・さいたま市立病院 | ・訪問看護ステーション |
| ・大宮共立病院 | （市内多施設） |
| ・指扇療養病院 | ・地域包括支援センター |
| ・北辰病院 | ・さいたま市公立保育所 |
| ・精神神経センター | 他 |

カリキュラム（別表3）

教育内容	授業科目	単位数	授業時間	備考
基礎分野	科学的思想の基盤			
	哲学	2	30	
	論理学	2	30	
	情報科学	1	30	
	医療英語	1	30	
	生物学	1	15	
	小計	7	135	
	人間と生活・社会の理解			
	社会学	1	15	
	教育学	1	15	
	心理学	1	30	
	人間関係論	1	30	
	コミュニケーション論	1	15	
	家族論	1	15	
カウンセリング理論	1	15		
小計	7	135		
合計	14	270		
専門基礎分野	人体の構造と機能			
	人体の構造と機能Ⅰ(呼吸器・循環器)	1	30	
	人体の構造と機能Ⅱ(消化器・内分泌・腎・泌尿器・生殖)	1	30	
	人体の構造と機能Ⅲ(脳・神経・感覚器・骨・筋)	1	30	
	生化学	1	15	
	小計	4	105	
	疾病の成り立ちと回復の促進			
	病理学	1	30	
	病原微生物学	1	30	
	疾病治療論	1	15	
	疾病の成り立ちと治療Ⅰ(循環・呼吸)	1	30	
	疾病の成り立ちと治療Ⅱ(脳・運動器・視覚)	1	30	
	疾病の成り立ちと治療Ⅲ(消化器・内分泌・代謝)	1	30	
	疾病の成り立ちと治療Ⅳ(腎・泌尿器・生殖器・乳腺)	1	30	
疾病の成り立ちと治療Ⅴ(生体防御機能・免疫機能・血液・感覚器)	1	15		
疾病の成り立ちと治療Ⅵ(小児の特徴的な疾患と治療)	1	15		
疾病の成り立ちと治療Ⅶ(精神障害と治療)	1	15		
リハビリテーション論	1	15		
臨床栄養学	1	30		
臨床薬理学	1	30		
小計	13	315		
健康支援と社会保障制度				
社会福祉	1	15		
生活を支える社会福祉制度	1	15		
健康維持のための予防と支援	1	15		
公衆衛生の基本	1	15		
関係法規	1	15		
国際・災害医療論	1	15		
小計	6	90		
合計	23	510		
専門分野	看護学概論	1	30	
	看護研究	1	15	
	看護研究演習	1	15	
	日常生活援助技術Ⅰ	1	30	
	日常生活援助技術Ⅱ	1	30	
	日常生活援助技術Ⅲ	1	30	
	診療看護技術Ⅰ	1	30	
	診療看護技術Ⅱ	1	30	
	診療看護技術Ⅲ	1	15	
	看護過程	1	30	
	ヘルスアセスメントⅠ(バイタルサイン)	1	15	
	ヘルスアセスメントⅡ(フィジカルアセスメント)	1	15	
	臨床看護総論	1	30	
	看護倫理	1	15	
小計	14	330		

	授業科目	単位数	授業時間	備考
地域・在宅看護論	地域・在宅看護論概論	1	30	
	地域・在宅看護生活援助技術	1	30	
	地域・在宅で療養する対象の看護	1	30	
	健康と暮らしを支える看護	1	15	
	地域・在宅で生活する対象を支える看護	1	15	
	地域・在宅看護論看護過程演習	1	30	
小計	6	150		
成人看護学	成人看護学概論	1	30	
	成人期にある対象の看護Ⅰ(消化器・代謝・内分泌)	1	30	
	成人期にある対象の看護Ⅱ(呼吸・循環器)	1	30	
	成人期にある対象の看護Ⅲ(運動・脳神経・感覚器)	1	30	
	成人期にある対象の看護Ⅳ(内部環境・体制防御・血液)	1	30	
	成人看護学看護過程演習	1	30	
小計	6	180		
老年看護学	高齢者看護学概論	1	15	
	高齢者の健やかな生活への看護	1	30	
	健康障害のある高齢者の看護	1	30	
	高齢者看護学看護過程演習	1	30	
小計	4	105		
小児看護学	小児看護学概論	1	15	
	こどもの成長・発達に応じた看護	1	30	
	健康障害のあるこどもの看護	1	30	
	小児看護学看護過程演習	1	30	
小計	4	105		
母性看護学	母性看護学概論	1	30	
	女性のライフサイクルと健康と看護	1	15	
	女性のライフサイクルと周産期の看護	1	30	
	母性看護学看護過程演習	1	30	
小計	4	105		
精神看護学	精神看護学概論	1	30	
	精神障害を持つ対象の看護	1	30	
	精神看護学援助技法	1	15	
	精神看護学看護過程演習	1	30	
小計	4	105		
看護の統合と実践	看護管理	1	15	
	医療安全	1	15	
	国際・災害看護	1	15	
	統合技術演習	1	30	
小計	4	75		
合計	46	1155		
臨床実習	基礎看護学実習Ⅰ	1	45	
	基礎看護学実習Ⅱ	2	90	
	地域・在宅看護論実習	2	90	
	成人看護学実習Ⅰ	2	90	
	成人看護学実習Ⅱ	2	90	
	成人看護学実習Ⅲ	2	90	
	老年看護学実習Ⅰ	2	90	
	老年看護学実習Ⅱ	2	90	
	小児看護学実習	2	90	
	母性看護学実習	2	90	
	精神看護学実習	2	90	
統合実習	2	90		
合計	23	1035		
講義 合計	83	1935		
実習 合計	23	1035		
総合計	106	2970		

主な年間予定

4月	<ul style="list-style-type: none"> 入学式、入学ガイダンス(1年生) 就職試験対策(3年生) 定期健康診断(全学年) 防災、消防訓練(全学年) 交流会(全学年)
5月	<ul style="list-style-type: none"> 臨地実習開始(3年生) 看護の日(2年生)
6月	
7月	<ul style="list-style-type: none"> 戴帽式(2年生) 解剖見学(1年生) 基礎看護学実習Ⅱ(2年生)
8月	<ul style="list-style-type: none"> 夏季休暇 さいたま市災害訓練(3年生)
9月	<ul style="list-style-type: none"> 九都県市合同防災訓練(埼玉県会場) 基礎看護学実習Ⅰ(1年生)
10月	<ul style="list-style-type: none"> トリアージ訓練(1年生)
11月	<ul style="list-style-type: none"> 臨地実習終了(3年生) 医療安全検討会(2年生)
12月	<ul style="list-style-type: none"> 領域別実習(2年生) 冬季休暇
1月	<ul style="list-style-type: none"> 領域別実習(2年生)
2月	<ul style="list-style-type: none"> 学内看護学生研究発表会(3、2年生) 看護師国家試験(3年生) 就職ガイダンス(2年生) 埼玉県看護学生研究発表会(2年生)
3月	<ul style="list-style-type: none"> 三年生を送る会(全学年) 卒業式 修了式 春季休暇
通年	<ul style="list-style-type: none"> ボランティア体験(全学年)

消防訓練



学生交流会



戴帽式



九都県市合同防災訓練(埼玉県会場)



後輩学生、教職員からの
3年生への国家試験合格祈願メッセージ

※年度によって時期が異なる場合があります。

学院の授業はどうか

田中：私が印象に残っているのは解剖見学の授業です。大学の教室へ行って本物の人体で学ぶことができます。今まで机上で学習した内容が結びついて、イメージができるようになりました。



千代田：実習の準備に向けた学習では、実習先の特徴に合わせたことを学んでおくと、受け持たせていただく患者さんの看護を考えると、ポイントを押さえて考えることができるので、日々の学習が大切だと実感しています。

小川：難しい授業でも、試験前にはクラスメイトと協力して勉強することで憶えることができます。

伊藤：授業中はしっかりと先生の話聞くことが大切だと思います。先生が授業中に臨床の経験談を話してくれます。働いた時の看護師のイメージがわきやすいです。



千代田さん

本校の受験対策は何をしましたか

小川さん



千代田：過去問の小論文のテーマと面接練習を特にしました。面接では、その時の社会問題になっていることを意識して、意見を述べるようにしました。数学や英語は他の看護学校のレベルと同じように勉強しました。国語は読解力をつけておくといいと思います。

小川：私も面接練習は高校の先生と何度も行いました。集団討論は、他に同じ形式で受験がある生徒同士で練習をしました。自分の意見が伝わりやすいように言える練習をしました。国語は、文章をなるべく早く読める練習をしておくと思う。

田中：面接では看護師を目指した理由や、市立の学校なのでその特徴を考えて、学校を選んだ理由を明確にして臨みました。

伊藤：高3の春から予備校に通いました。医療に関するニュースを把握して小論文を書く練習をしました。そのニュースに対して自分が思ったことを伝えたり、人の話を聞いて自分の考えに取り込んだりする訓練をしました。



伊藤さん

田中：課題やテストに追われて厳しい状況になったとしても、看護師になりたいという気持ちを忘れずに頑張れば乗り越えることができます。みんなで頑張りましょう。

伊藤：先生との距離感が近くて質問しやすい環境がいいところだと思います。

千代田：個々にアドバイザーの先生が担当してくれているので、勉強のことだけではなく、就職活動のことでも指導をしてもらえるのが魅力だと思う。学校生活の中で、困ったときに相談することができるのが良い。生活リズムを整えることが大切だと思う。

小川：気分転換方法を見つけておくと思う。友達や、学生生活の中で自然とできます。みんな目標をもつ仲間なので強い団結力があります。お互いに協力し合って辛いときも乗り越えられると思います。



田中さん

学院の入学希望者へ

私は、兄2人が最前線で人の命を助ける仕事をしている姿を見て、私も人の命を支える仕事をしたいと考え、看護師を目指しました。本校を希望した理由は、市立病院が隣接しており、学習環境が整っているところに魅力を感じたからです。看護学校は、厳しいことが当たり前の学校だと思っていましたが、教員に相談しやすい雰囲気だったり、親睦会などの行事を通して他学年と交流ができたりと楽しく充実した日々を送ることができます。授業や演習で、外部講師や臨床看護師の方から教えていただくこともあり、引き締まった気持ちになります。また、国家試験対策も1年次から取り組んでいきます。これから実習や就職活動で忙しくなりますが、仲間と支え合いながら看護師になるという夢に向かって励んでいきたいと思います。



加藤さん

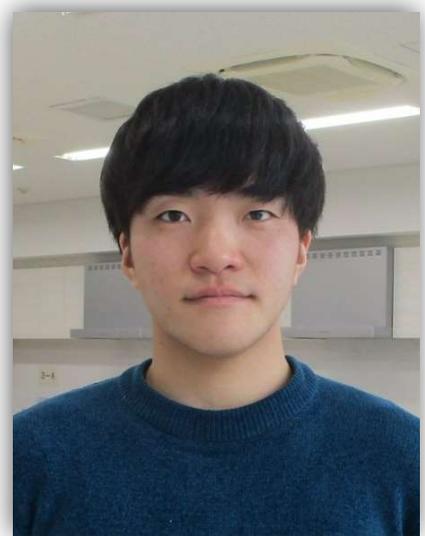


足達さん

私は、医療の視点から、人々が望む暮らしを支える仕事がしたいと思い看護師を志しました。本校を志望した理由は、生まれ育ったさいたま市に貢献したいと思ったことと、説明会で見た先輩方の雰囲気惹かれたからです。社会人経験を経て入学しており、久しぶりの学生生活に馴染めるのか不安でしたが、担任制度やアドバイザー制度など、気軽に先生に悩みを相談しやすい環境が作られています。お陰で、同じ目標をもつ思いやりのある仲間に出会い、忙しくも楽しい日々を送ることができています。これから3年生となり、実習や就職活動、国家試験と大きな山場が待ち受けていますが、これまでに身につけてきた知識や技術を糧に、理想の看護師を目指して仲間と一緒に自己研鑽に励み、乗り越えていきたいと思っています。

私は肘を怪我で手術し入院をした経験があります。その時に担当して下さった看護師に献身的に支えていただき、精神的・身体的な苦境を乗り越えることができました。このことを機に病気や怪我で苦しむ人の力になり支えることができる看護師になりたいと思いました。

私が本校を志望した理由は、市立病院が隣接していて、そこで働く医療従事者からの指導を受けながら学ぶことができる学習環境に魅力を感じたからです。1年生では、主に基礎的な内容を学習します。1年生の後半で行く実習で、患者さんを受け持つ機会を与えていただきました。そこで、今までの基礎学習がいかに重要か強く実感しました。2年生になると実習の機械も増え、より専門的な知識が求められると思いますが、先生方や周りの仲間と力を合わせて乗り越えていきたいと思っています。



森田さん



【卒業生 西川さん】

さいたま市立高等看護学院を卒業し、約1年が経ち、学生生活を振り返ると大変なこともありましたがとても充実した3年間だったと思います。1年次では主に座学で基礎的な分野を学びました。先生方からは「基礎が大切」と教わり、1年次で学んだ内容はその後の実習や国試対策だけではなく、現場でのアセスメントにも活かしていると感じます。また、学院では先生方のアドバイザー制を導入していることで、学生1人ひとりに寄り添って、個人に合った学習方法の提案や就職試験対策、日々のメンタルケアをしていただきました。看護師になりたいという目標に向かって頑張る上で、試験勉強や実習など大変な期間もありましたが、同じ目標をもつ仲間や先生方、家族、臨床指導員など多くの人に支えられ成長できた3年間だったと感じます。そして今、私はさいたま市立病院の循環器、腎・内分泌、総合内科の混合病棟に勤務しています。3年間苦楽を共にしてきた仲間と同期と支え合い、これまでの学びを活かして日々奮闘しています。

わたしは現在、さいたま市立病院の内科病棟に勤めています。超高齢化社会が到来すると言われており、入院患者さんのうち後期高齢者の方の占める割合が高くなっています。寝たきりの状態にある方や認知症を有している方も多くいらっしゃるため、ときにはスペシャリストの助言を受けながら、病棟スタッフと日々の看護にあたっています。

学院に通っていた3年間のことを思い返すと、臨地実習のことが強く思い出されます。学内で学んだことをもとに、受け持っている患者さんの病態を理解し、その日にあった援助を学校の先生や病院の指導者の方にアドバイスをいただきながら考え、実践していくのは大変なことも多くありました。しかし、そのときの経験や感じた思いは今でも看護を行っていくうえでの基盤となっています。同期の存在も大きなもので、学生時代は一緒に笑い、楽しみ、ときには涙し過ぎてきました。そんな同期とは今でも連絡を取り合い、今後も付き合っていくだろう大切な存在です。学院での3年間があったからこそ、今も看護師として働き続けることができていると感じています。いつかみなさんと、看護師としてお会いできることを楽しみにしています。



【卒業生 八木さん】



【卒業生 横田さん】

私は現在、さいたま市民医療センターの内科・整形外科の混合病棟に勤めています。私は内科チームに所属しており、主に血液内科の患者さんの抗がん剤治療が多く、安全に治療が行えるように日々、同期・先輩方と話し合いながら看護を行っています。

3年間の学校生活では臨地実習・学習など大変なことが多くありました。特に臨地実習では患者さんと直接向き合い、看護を展開していく中で悩むことが沢山ありました。仲間との助け合い、先生方のサポートがあったことで乗り越えることができました。臨地実習での多くの経験があったからこそ、今の看護師としての自分があると思います。私は、看護師として働き続けることを誇りに思っています。いつか皆さんと一緒に看護を行えることを楽しみにしています。

私たち教員も本学院の卒業生です。卒業後はそれぞれの場所で看護師として経験を重ね、現在は母校である本学院で専任教員として勤務しています。

本学院には高校卒業後すぐに入学した学生だけでなく、社会人経験者や家庭を持つ学生も在籍しています。年齢も経験も様々で、個性豊かな学生と過ごす日々は毎日が新鮮です。学院で学ぶ3年間は決して楽しいことばかりではありません。様々な壁にぶつかり、悩むこともあると思います。そんな時は私達も皆さんと一緒に考え、全力でサポートしていきます。

看護師を志している皆さん、さいたま市立高等看護学院と一緒に学びませんか。

【私達も卒業生です！】



令和6年度入学試験競争倍率

※最終合格者数に対する志願者数の倍率

- 一般A入試 1.1 倍
- 一般B入試 1.0 倍
- 一般C入試 1.0 倍
- 社会人選考 1.2 倍
- 推薦選考 1.0 倍

看護師国家試験合格率(新卒者)

92.7%

(令5和年度)

※全国平均は87.8%

卒業生数

1,701人

令和5年度末時点

令和5年度卒業生進路

- 市内医療機関 50人
- 市外医療機関 0人
- 大学等進学他 4人

入学時・入学後に生じる主な費用

入学金

市内生※ 8,000円

※入学試験日の属する年度の4月1日以前から
入学手続きを行うまで、引き続き市内に
住民登録がある方

市外生 100,000円

授業料

15,000円/月

(180,000円/年間)

※納入は年間一括、半期ごと2回から選択

教科書代

1年次 約125,000円

2年次 約55,000円

3年次 約12,000円

その他の諸費用

- ・ 予防接種代、演習個人備品等
1年次 約135,000円
- ・ クラス費、卒業積立費等
約72,000円(2年次まで)

入学前に係る費用

- ・ 実習用白衣・靴・ジャージ等
約65,000円
- ・ 入学前学習トレーニング
約12,000円

※入学金、授業料以外は、年度によって異なる場合があります。

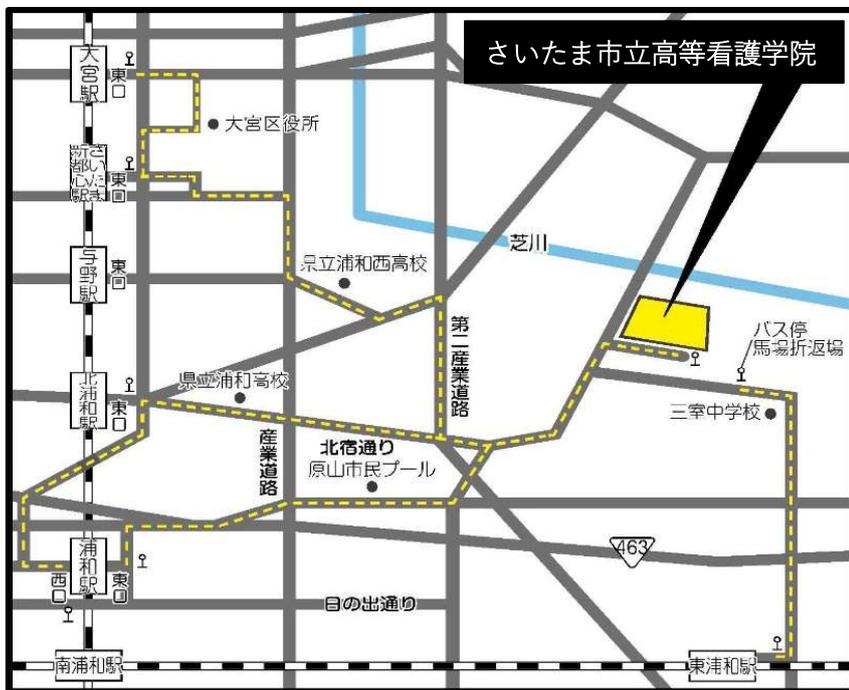


学生宿舎

名称 さいたま市立高等看護学院学生宿舎「桜花寮」
所在地 さいたま市緑区大字三室2423番地12
(高等看護学院まで徒歩3～4分)
居室 50室(一人部屋)
構造 鉄筋コンクリート造り 3階建
居室内容 居室面積/24.60㎡
居間部分/13.65㎡(8.3畳)
貸家料 1か月 20,000円(光熱水費別途)



学院アクセス



【アクセス】

- J R 京浜東北線「北浦和駅」から
* 東口バスターミナルから東武バス「さいたま市立病院」行で終点下車(所要時間15分)
- J R 宇都宮線・高崎線(上野東京ライン・湘南新宿ライン)、京浜東北線「浦和駅」から
* 東口から国際興業バス「市立病院」行で終点下車(所要時間20分)
* 西口から東武バス北浦和経由「さいたま市立病院」行で終点下車(所要時間25分)
- J R 武蔵野線「東浦和駅」から
* 国際興業バス「市立病院」行で終点下車(所要時間20分)
* 国際興業バス「馬場折返場」行で終点下車(所要時間15分下車徒歩5分)
- J R 宇都宮線・高崎線(上野・東京ライン)、京浜東北線「さいたま新都心駅」から
* 東口から東武バス「さいたま市立病院」行で終点下車(所要時間30分)
- J R 宇都宮線・高崎線(上野・東京ライン、湘南新宿ライン)、京浜東北線、埼京線、川越線、東武野田線、埼玉新都市交通「大宮駅」から
* 東口から東武バスさいたま新都心経由「さいたま市立病院」行で終点下車(所要時間40分)

* 所要時間は目安です



さいたま市立高等看護学院

〒336-0911 さいたま市緑区大字三室2460番地

電話 048(873)0281 FAX 048(873)0282

この学院要覧2024年度版は1000部作成し、1部当たりの印刷経費は116.6円です。